とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和8年3月中旬～下旬
クラス名（年齢）	ことり組（1歳児）
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

春の花や虫に触れて遊ぶ

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

・園庭で遊ぶ中で虫や花などの春の自然物に興味を示して、見つけたり、保育者に知らせる姿が見られるようになったため。

2、活動スケジュール

・園庭で春の自然物（春や虫）を探して、保育者や友達と一緒に観察する
・色や形、触った感触に興味を持ち、仕草や簡単な言葉で保育者に伝える

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

・園庭の花や虫などの自然がある場所を事前に把握したり、少人数で観察して、子どもの気づきを発見出来るようにする。

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

・園庭を散策する中で春の自然物（花や虫）に興味を示し、観察する
・色や形、感触や匂いなどに気付いて、保育者や友達に仕草や簡単な言葉で伝える。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
・ダンゴ虫を見つけて「むしさんいた！」と指を指して保育者に伝える。「ダンゴムシいたね」と保育者が言うと、「ダンゴ」などと真似して言う。 ・「見て見て」と近くにいた友達にも知らせる。興味を持って覗き込み、指でツンツンしたり指で摘まんで持とうとしたり、手のひらに乗せて観察する。「小さいね」「コロコロ」などと大きさや形を言葉で伝える。 ・ダンゴ虫を観察した後、「こっちにもいたよ」と別の場所にいたことを伝える。保育者が見ると、おしろい花の種だったが、形や色が似ていた為、ダンゴムシだと思ったようだった。 ・花壇にある花を見て、「お花きれい」と友達に知らせる。「ピンク、白、黄色」など、見つけた色を言って楽しむ。身体を花の近くに寄せて、花の匂いをかぐ。	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・ダンゴムシを見つけて保育者に嬉しそうに知らせてくれたり、興味を示してじっと見つめて観察していた。指でツンツンと触ったり、手のひらに乗せたりして色々な触り方をしていた。４月、５月に春の自然を観察した時には、一人でまたは保育者と一緒に観察していたが、1年近くがたつと友達にも「見て見て」と自分が発見したことを共有しようとする姿に成長を感じた。園庭に残っていたオシロイ花の種を見つけて、「ダンゴムシいたよ」と伝える姿から、形や色などの特徴を捉えてよく見ていると感じた。花の観察では、色を言うだけではなく、自然と匂いをかぐ姿から、色々な感覚を使って観察を楽しんでいると感じた。